



## 日本の地質百選 選定委員会の発足と検討過程について

NPO法人地質情報整備・活用機構（GUPI）と社団法人全国地質調査業協会連合会（全地連）では、平成17年度に、日本の地質事象百選のプロジェクトを提案し、全国から候補箇所の募集を行ってきました。

平成18年度には、地方公共団体や、一般の方の意見も参考にしながら、地質関連の学協会、NPO、関係行政庁等を含む幅広い委員からなる下記選定委員会により「日本の地質百選」の選定を行ないました。

### 日本の地質百選選定委員会 委員名簿（50音順・敬称略、職名は委員委嘱時）

委員長：斎藤 靖二	神奈川県立生命の星・地球博物館館長、前日本地質学会会長
委員：井上 大栄	(財)電力中央研究所研究首席研究員、日本応用地質学会会長
岩井 国臣	参議院議員（前国土交通副大臣、NPO法人GUPI理事）
大矢 暁	国際惑星地球年（IYPE）対応国内実行委員会会長、 NPO法人地質情報整備・活用機構（GUPI）会長
桂 雄三	文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官
加藤 碩一	独立行政法人産業技術総合研究所理事
黒田大三郎	環境省大臣官房審議官
柴田 耕介	国土交通省大臣官房総合観光政策審議官
佃 栄吉	独立行政法人産業技術総合研究所研究コーディネーター、 日本地質学会副会長
西山 英勝	日刊建設通信新聞社社長
祢屋 誠	国土交通省総合政策局技術調査官
平野 勇	独立行政法人土木研究所地質監
広瀬 敏通	特定非営利活動法人日本エコツ・リズム協会 理事
船山 龍二	社団法人日本ツ・リズム産業団体連合会会長、 立教大学観光学部客員教授
森 研二	社団法人全国地質調査業協会連合会会長
吉田 雅彦	経済産業省産業技術環境局知的基盤課長

（なお、大矢委員には平成18年11月事故により逝去されました。）

### 事務局・幹事

下記機関より参加

NPO法人地質情報整備・活用機構（GUPI）事務局

社団法人全国地質調査業協会連合会事務局

独立行政法人産業技術総合研究所

日本地質学会

## 第1回選定委員会

平成18年9月1日(金)午後2時～5時

### 主な議題

#### 1. 委員長選出

齋藤靖二氏を委員長に選定。

#### 2. 百選の名称について

10前後の名称について検討したが、次回決定することとした。

#### 3. 百選選定の趣旨について

世界的に見ても特殊な地質環境下にある日本のさまざまな地質事象に関する情報を国民一般や地域住民と共有し、地質・地学・地球科学に対する理解の増進、貴重な自然資源の保全と活用とを図るとともに、地域振興及び『観光立国』VJCの一環としたツリズムの一層の発展に寄与したい。

また、地質事象上重要な情報を今まで以上に保全し、幅広く公共的理解を求めるため、地質博物館及び巡検コースのような施設・設備を整備し、またその科学研究に対する支援の輪を広めるとともに、ユネスコ・ジオパークの候補地選定などを働きかけたい。

#### 4. 候補箇所について

応募のあった約300箇所に委員などの推薦箇所を加えることとした。

#### 5. 選定基準について

事務局案及び公募時の条件などについて検討し、次回に決定することとした。

## 第2回選定委員会

平成18年10月30日(月)午後2時～5時

### 主な議題

#### 1. 百選の名称について

日本の地質百選とする。

なお、ジオパークに結びつく副題やジオ100を取り入れたロゴマークについても検討する。

#### 2. 候補箇所について

委員などの推薦箇所を加えた約380箇所から選定する。(別表参照)

#### 3. 選定基準について

専門家が地質学的見地から選定基準を明確にして選定すべきであり、地質学的に何を知らしてほしいか、何を説明するのか、学問的な面が重要で、しっかりした情報をそろえる。例えば、「日本の地史として重要なもの」「岩質-堆積岩、火成岩、変成岩」「ヒスイなどの鉱物」「千枚田や第四紀などの地形と地質」「褶曲や断層などの地殻変動」「火山」「鉱山や人文遺跡などの人間とのかかわり」「防災」のジャンルから代表的な箇所を幾つか選定することとした。

最終的には次回までに確定することとした。

#### 4. ジオパーク、IYPE(国際惑星地球年)との関連について

これら国連、ユネスコのプロジェクトと連携をとり、効果的な活動を行うこととした。

#### 5. 今後の広報活動について

出版企画、マスコミ対応について検討し、目的に則った積極的な活動を行うこととした。

### 第3回選定委員会

平成19年3月7日(水)午後2時～5時

主な議題

#### 1. 百選候補箇所の選定について

表に示した候補箇所の中から83箇所を選定し、関係自治体に通知して了承を得た後、公表することになりました。公表の時期は5月10日頃を予定しています。

残りの20箇所程度は新たな立候補も受け付け選定を続ける予定です。

#### 2. 今後の広報活動について

学会誌・協会機関誌等への記事掲載、解説書の刊行、リーフレットやホームページ等々を通じてPRすることになりました。

#### 3. 自治体との提携方法について

自治体への働きかけが重要であるとの意見が多く、具体的な提携方法について検討を継続することになりました。

#### 4. 地質に関連する諸活動の状況などについて

特にジオパークについて議論がなされました。

百選とジオパークは別だが連動した動きも必要であり、百選の残り20箇所程度の選定も含めジオパーク運動を盛り上げ、地元を支援していくために主体的に取り組むことになりました。

ジオパークについては、<http://www.gupi.jp/>をご覧ください。

都道府県	名称	都道府県	名称
北海道	1 新冠円錐泥火山	福島県	61 磐梯山
	2 石狩平野、泥炭地		62 郭公水
	3 美瑛		63 入水鍾乳洞
	4 美々川分水界		64 あぶくま洞
	5 白滝黒曜石		65 糸魚川静岡線(糸魚川)
	6 釧路湿原	66 信濃川河岸段丘	
	7 昭和新山	67 清津峡・七ツ釜	
	8 根室車石（枕状溶岩）	68 佐渡小木海岸	
	9 サロマ湖	69 小粟田原段丘	
	10 サロベツ原野	70 尖閣湾	
	11 アポイ岳と高山植物群落	71 潮掛鼻大型有孔虫砂岩	
	12 大雪山山系	72 新潟砂丘	
	13 羊蹄山と京極町の吹き出し	73 佐潟	
	14 支笏湖・洞爺湖のカルデラ	74 粟島隆起床	
	15 野付半島の分岐砂嘴地形	75 間瀬沸石多産地	
	16 恵山の囊の河原と地獄谷	76 新津油田	
	17 日高三石の蓬莱山	77 東頸城地すべり	
	18 夕張の石炭大露頭	78 加茂湖	
	19 知床半島	79 小滝ヒスイ峡	
	20 利尻岳と利尻島	80 関田山地	
	21 幌尻岳の七つ沼カル（氷河）	81 青海カルスト	
	22 夕張岳と蛇紋岩メランジュ帯	82 佐渡段丘	
	23 有珠山の火山現象	83 佐渡金山	
	24 宗谷丘陵の周氷河地形	84 笹川流れ	
	25 登別温泉の地獄谷	85 平根崎	
	26 神居古潭溪谷の変成岩	86 越後三山	
	27 層雲峡大函・小函の柱状節理	87 妙高	
	28 余市町の奇岩ローソク岩	88 大野亀・二つ亀	
	29 乙部の柱状節理	89 保倉川蛇行河川跡	
	30 幌満オフィオライト→アポイ岳参照	90 中越ケスタ	
	31 小樽市赤岩の珪化岩壁	91 胎内川扇状地	
	32 湯の滝の二酸化マンガン鉱床	92 水無川扇状地	
	33 二股温泉の石灰華	93 粟島ドレライトと柱状節理	
青森県	34 仏ヶ浦（海蝕崖）	94 弥彦・角田山地	
	35 十和田湖	95 越後平野	
	36 種差海岸	96 青海川の硬玉産地及び硬玉岩塊	
	37 恐山の生きている金鉱床	97 魚津埋没林	
	38 奥入瀬溪谷	98 黒部川扇状地	
岩手県	39 十二湖の地すべり地形	99 富山湾（富山湾越し北アルプス）	
	40 龍泉洞（カルスト）	100 立山連峰	
	41 浄土ヶ浜（陸中海岸）	101 立山カルデラ	
	42 猿岩	102 跡津川断層	
	43 北上劈開褶曲→唐桑半島参照	103 称名滝	
宮城県	44 釜石鉱山佐比内鉱床露天採掘場	104 白米千枚田	
	45 松島	105 岩間噴泉塔群	
	46 秋保大滝	106 白峰巨岩(百万貫岩)	
	47 磐司	107 能登珪藻土	
	48 蔵王火山	108 犀川沿い大桑層	
秋田県	49 唐桑半島	109 筑波山	
	50 鳥海火山泥流	110 霞ヶ浦	
	51 大仙市貫入岩	111 袋田の滝	
	52 男鹿マール	112 棚倉構造線	
	53 六郷湧水群	113 菅生沼	
	54 千屋断層	114 五浦海岸	
	55 小坂鉱山露天採掘場跡	115 山の尾	
山形県	56 尾去沢鉱山跡	116 峰寺山の球状花崗岩	
	57 最上川先行谷	117 妙見山のリチウムベグマタイト	
	58 四ヶ村の棚田	118 那須の原	
	59 黒淵地すべり	119 華厳の滝	
	60 山寺	120 今市扇状地	

都道府県	名称	都道府県	名称
栃木県	121 足尾銅山		
群馬県	122 上野村亀甲石産地	岐阜県	181 乗鞍火山
	123 浅間山(蒲原岩屑流)		182 飛水峡
	124 瀬林の漣痕と恐竜足跡		183 鶴沼のチャート
	125 跡倉クリッペ		184 阿寺断層
	126 群馬鉄山跡		185 瑞浪の貝化石
埼玉県	127 秩父・長瀬	三重県	186 上麻生礫岩
	128 金勝山と車山		187 鬼ヶ城獅子岩
	129 武甲山		188 中央構造線(月出)
千葉県	130 養老溪谷	福井県	189 七里御浜
	131 犬吠埼層		190 蟹池
	132 黒滝不整合		191 赤目四十八滝
東京都	133 父島無人岩(ポニナイト)		192 杖突坂段丘
	134 伊豆大島		193 安楽川蛇行
	135 三宅島		194 阿曾カルスト
	136 山手崖線地形	195 東尋坊 柱状節理	
	137 三宅島の結晶火山弾(灰長石)	196 中竜鉱山跡	
神奈川県	138 沖ノ島島	197 九頭竜ダム	
	139 城ヶ島	198 越前海岸	
山梨県	140 箱根火山	滋賀県	199 石山寺珪灰石
	141 三浦層デュープレックス		200 伊吹山
	142 湯河原不動滝の湯河原沸石産状		201 草津川
山梨・静岡県	143 糸魚川静岡線(早川)	奈良県	202 大台ヶ原
山梨県	144 富士		203 洞川
	145 昇仙峡		204 二上山
	146 曾根丘陵		205 室生・赤目
	147 甲府盆地		206 玉置山の枕状溶岩
長野県	148 葦崎泥流	京都府	207 大阪層群最温暖期植物化石
	149 上高地		208 淀生津町堤防
	150 八ヶ岳		209 御土居
	151 諏訪湖		210 天の橋立(山陰海岸)
	152 竜神の滝		211 郷村断層
	153 中央構造線(大鹿村)		212 鐘打鉱山
静岡県	154 一之坂亀甲岩	大阪府	213 寝屋川・枚方断層崖
	155 青木湖・姫川源	兵庫県	214 六甲山
	156 大崩海岸		215 水上回廊
	157 柿田川		216 玄武洞
	158 修善寺旭滝		217 但馬御火浦
	159 鮎壺の滝		218 香住海岸
	160 大室山	219 野島断層(六甲-淡路断層系)	
	161 神池	220 生野鉱山	
	162 白糸の滝	和歌山県	221 橋杭岩
	163 浄蓮の滝		222 古座川一枚岩
164 丹那断層	223 白浜泥岩含脈		
165 日本平	224 高池の虫喰岩		
愛知県	166 三保の松原	兵庫・鳥取県	225 山陰海岸(浦富海岸)
	167 駒門風穴	鳥取県	226 諸鹿屏風岩
	168 赤石大谷崩れ		227 和奈見枕状溶岩
	169 宇久須-深田珪化帯		228 雨滝
	170 土肥(天正)金山		229 夏泊獅子岩
	171 鳳来寺山		230 赤松青色片岩
	172 乳岩・乳岩峡		231 赤波川甌穴
173 阿寺の七滝	232 大山ドーム		
長野・岐阜県	174 馬の背(豊川)	233 鳥取砂丘	
	175 御岳火山	234 鶴木の火山礫岩層	
岐阜県	176 根尾谷断層	島根県	235 三瓶埋没林
	177 鳴沢湧水		236 石見畳ヶ浦
	178 福地飛驒外縁帯		237 隠岐島前カルデラ
	179 赤坂石灰岩		238 隠岐知夫里島赤壁畳石
	180 神岡鉱山		239 隠岐ローソク島
			240 仁摩琴ヶ浜

都道府県	名称	都道府県	名称
島根県	241 石見銀山	高知県	301 横倉山(黒瀬川)・佐川
	242 八雲風穴		302 竜串の奇岩(三崎層)
	243 大根島溶岩トンネル		303 室戸のgabbro
	244 出雲神西湖		304 興津メランジュ
	245 馬谷城山ベグマタイト	福岡県	305 平尾台カルスト
岡山県	246 豪溪	306 長垂含紅雲母ベグマイト	
	247 羅生門	307 添田町花崗岩中石炭岩脈	
	248 柵原鉱山	佐賀県	308 有明海干潟
	249 人形峠		309 屋形石七つ釜 柱状節理
	250 井倉洞と満奇洞	長崎県	310 生月島柱状節理
	251 王子ヶ岳		311 雲仙
	252 女山玄武岩		312 小値賀島単成火山群
	253 北木島石切場		313 斑島玉石甌穴
254 万成石石切場	314 奈留島の日本式水晶産地		
255 吉備高原面	315 高島炭鉱跡		
256 神庭の滝	316 北松地すべり		
広島県	257 明神山三連山	熊本県	317 阿蘇
	258 船佐逆断層帯		318 小国鍋ヶ滝
	259 久井の岩海		319 白岩湧水
	260 押ヶ峠断層帯		320 御所浦 恐竜
	261 雄橋	321 球泉洞	
	262 仙酔島	大分県	322 姫島
	263 摺滝化石植物群		323 臼杵石仏群
	264 福山衝上断層		324 瓜生島
	265 東城川の甌穴		325 別府島原地溝帯
	266 東酒屋の褶曲		326 玖珠二重メサ
	267 東酒屋海底地すべり		327 湯布瑠藻土採掘場
	268 西酒屋の備北層群大露頭		328 国東半島
269 上原谷石灰岩巨礫	329 津久見石灰岩鉱山		
山口県	270 秋吉台・秋芳洞	宮崎県	330 竹田火山台地浸食地形
	271 畳岩・須佐ホルンフェルス		331 久大線沿線地形地質
	272 萩大井川火山地形等		332 高千穂峡 溶結凝灰岩
	273 出合周防変成岩		333 青島
	274 屋代島		334 市木不整合と堆積構造
	275 桃の木石炭・化石		335 猪崎鼻堆積構造
	276 青海島		336 鬼神野枕状溶岩
	277 青野火山群		337 関之尾の滝
	278 萩笠山萩六島		338 祇園山(黒瀬川帯)
	279 長門峡		339 都井岬オリストストローム
	280 俵島柱状節理		340 尾鈴山酸性岩
	281 石柱溪		宮崎・鹿児島県
282 万倉の大岩郷	鹿児島県	342 沖永良部フーチヤ	
283 立岩等地すべり		343 名音層状チャート	
284 一宇高地住居		344 桜島溶岩原	
285 四国東部中央構造線		345 曾木の滝	
286 穴喰浦舌状漣痕		346 下甌島海岸	
287 阿波の土柱		347 吹上浜砂丘	
288 鹿浦越ランプロファイア岩脈		348 始良カルデラ	
香川県	289 五色台	349 屋久・種子島	
	290 寒霞溪	350 春日・赤石・岩戸の南薩型金鉱床	
	291 サヌカイト	351 沖永良部鍾乳洞群	
	292 砥部衝上断層	352 屋久島田代海岸の枕状溶岩	
愛媛県	293 四国カルスト	沖縄県	353 宮古島地下ダム
	294 古岩屋奇岩群		354 塩川
	295 大島シュードタキライト		355 奥武島の豊石 柱状節理
	296 佐田岬の青石		356 玉泉洞
	297 仏像衝上断層		357 本部円錐カルスト
高知県	298 龍河洞		358 名護天仁屋バン崎
	299 千尋岬の化石漣痕		359 八重干瀬
	300 唐船島の隆起海岸		360 大東隆起環礁
			361 池間石灰岩円筒中空地
			362 琉球弧